

# 保育園の自己評価

(A…よくできた B…できた C…改善が必要)

1) 保育理念・保育観		
1	保育士一人ひとりが、長田保育園の保育理念・保育方針を理解している	A
2	長田保育園の保育方針を理解して、保育計画が立てられている	A
3	常に保育方針や保育観を確認できるような機会をつくっている	A
4	一人ひとりの主体性を大切にされた保育をしている	A
5	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している	B
<p>(反省・課題・改善策等)                      保育環境を整えていけるよう学びを深めたことで、工夫を重ねることができ、また一人ひとりの思いに寄り添った保育ができた。子育ての悩みに寄り添える場をどう確保していくかが今後の課題。</p>		
2) 保育計画・指導計画		
1	保育方針のねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や保育計画を立てている	A
2	保育計画に基づき、子ども一人ひとりの発達の姿や興味を把握し、年間計画・月案・週案を立てている	A
3	3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しを持って一人ひとりに応じた保育計画を立てている	A
4	配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている	A
<p>(反省・課題・改善策等)                      保育方針やクラスの年間目標等を意識し、子どもの姿もしっかり理解して、月案や週案が立てられるよう努力している。配慮の必要な子に対する保育計画も、子どもの姿からしっかり考えることができている。行事への取り組みに関して、子どもの発達をしっかり考え、無理なく楽しく参加できるよう工夫していきたい。</p>		
3) 食 育		
1	食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせた食育計画を立てている	A
2	調理員・保育士が連携し、会議等で意見を交わしながら、よりよい給食になるよう努めている	A
3	食材の栽培・収穫・クッキング等を通し、様々な食材を味わえるようにしている	B
<p>(反省・課題・改善策等)                      プランターで野菜を栽培し、収穫した野菜をクッキングするなど、食に対する興味・関心を深めることができた。しかし、食べ慣れない食材に挑戦してみようとする気持ちは高める事ができなかったため、次年度の計画に組み込んでいきたい。</p>		
4) 職員構成・役割分担・研修		
1	職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園運営ができている	B
2	危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている	A
3	園の保育や内容を深めるために、職員がそれぞれの役割を果たし、活発に活動している	A
4	園内研修と園外研修の計画を立て、実行している	A
5	施設設備や遊具等の安全点検を行っている	A
<p>(反省・課題・改善策等)                      職員それぞれの課題や役割等を考慮し、研修会を選択して参加。学びを深めることができていた。連携を図り保育しているが、まだそれぞれの役割が十分に発揮できていない部分もあるため、一人ひとりがしっかり役割を果たし運営できるようにしていきたい。専門リーダーによる研修も充実させたい。</p>		

5) 保護者支援		
1	保護者と良好な関係を作ろうとしている	A
2	園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている	B
3	保護者の状況を理解し、個人情報の漏えいに気を付けている	A
4	子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している	B
(反省・課題・改善策等) 子ども一人ひとりの発達を把握し、伸びているところや課題を伝える努力はしたが、行事の取り組みに関する園の考えを上手く伝えられなかった面もあるため、保育内容等がしっかり発信ができていたか課題も残る。		
6) 子育て支援		
1	地域に開かれた園として、日々子育てをしている親子を受け入れている	A
2	子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている	A
3	園生活の子どもの様子を地域にも発信している	B
4	地域で子育てをしている親子の交流の場となるよう努めている	A
(反省・課題・改善策等) 地域の方々を園行事にお招きした際に、園生活の様子を配信したり、子育てについて話をする機会を設けることができた。また繁多川公民館での親子そだて園では、親子の関わり大切さを伝えることができた。地域に開かれた園としての役割が果たせるよう今後も努力していきたい。		
7) 小学校や地域社会との連携		
1	定期的に地域の小学校やこども園と交流を行っている	A
2	定期的に地域の小学校やこども園との会議や職員交流を行っている	A
3	高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている	A
(反省・課題・改善策等) 保幼小連携を行うことで、園児がスムーズに学校生活へ移行できるよう配慮している。小学校の先生方には、園児の特性を踏まえ申し送りができ、良い結果に繋がっているように思う。また核家族化が進み、高齢者と触れ合うことが少なくなっているため、交流できる機会が得られることは大変良いと考えている。		

2024年3月